

大津赤十字病院を受診された患者さんへ

本研究は、当院の倫理委員会で承認され、大津赤十字病院の施設長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	Redefining the Blanking Period by a Long-Term Follow-Up after Atrial Fibrillation Ablation (心房細動アブレーション後の長期フォローによる blanking period の再定義) (No.758)
当院の研究責任者 (所属)	貝谷 和昭 (循環器内科 部長)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	大西 尚昭
本研究の目的	心房細動アブレーション後の急性期における心房細動の再発と慢性期における再発の関連を調査する。
調査データ 該当期間	2016年11月1日から2019年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 2016年11月1日から2019年3月31日までに当院で心房細動の初回アブレーションを行った連続234人 ●利用する情報 対象患者さんのアブレーション治療時の背景(年齢、性別、基礎疾患、採血データ、生理検査データ)、アブレーション治療の内容、術後の心房細動再発の有無と日時、外来での採血や生理検査データや健康情報
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他機関への提供なし
個人情報の取り扱い	利用する情報等をまとめる際に、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会で発表する際に個人が特定できる情報は利用いたしません。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	電話：077-522-4131 担当者：大西尚昭 (循環器内科 医師)
備考	第87回日本循環器学会学術集会総会で口述発表予定